

# 公立大学法人九州歯科大学

## I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

九州歯科大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、3事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、歯科保健医療の高度な専門的知識・技術を教授するとともに、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

平成26年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中全て（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、学生の歯科医療人としての自覚を高めるため、実践的な臨床能力が体得できるような全体的なカリキュラムの改善を図るなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成26年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展等、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより社会貢献の充実に向けた取組を更に推進されることを期待する。

## II 項目別評価（中期目標項目別評価）

### 1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成
  - ・初年次から登院実習までの一連の教育を充実するため、歯科基礎・臨床医学教育、及び診療参加型臨床実習の連続的な歯学教育カリキュラムの改善を図った。
  - ・臨床推論能力の養成等に取り組み、平成26年度の歯科医師国家試験合格率が全

国29大学中4位と高水準であったことを評価する。

- (2) 特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成
- ・口腔保健学専攻修士課程について、入学定員充足率を充たして教育を開始した。
  - ・大学間連携共同教育推進事業において、4大学間での単位互換協定に基づき学生の相互受入を開始した。
- (3) 教員の教育力の向上
- ・国家試験結果等の検証や教育改善につながるワークショップの開催などにより教員の意識を深め、FD(※)の推進に努めている。

※FD(ファカルティ・ディベロップメント)  
教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

- (4) 適性のある優秀な人材の確保
- ・模擬講義の実施など高大連携に取り組むとともに、高校訪問、大学施設見学会等の入試広報活動の充実を図ることで、入試科目の大きな改編にもかかわらず、歯学科の志願倍率が目標を上回った。
- (5) 学生への支援
- ・口腔保健学科において、「就職支援実施会議」を活用して組織的に就職活動を支援した結果、民間企業、官公庁等への就職先を開拓した。

## 2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の採択率が高水準を維持するとともに、獲得件数も目標を大きく上回っており、外部研究資金を積極的に獲得している。
- ・(公財)北九州産業学術推進機構、民間企業との三者で、医療・介護分野における協定を締結し、先端的かつ広い視野を有する人材育成、新規技術の創出を目指している。

## 3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・海外大学との学術交流を開始し、国際シンポジウムの開催や短期海外派遣プログラムの構築など幅広く活動を推進しており、今後の活動に大いに期待する。

#### 4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行った。
- ・診療参加型臨床実習を実践するため第2総合診療科を開設し、臨床教育の充実を図る体制を構築した。

#### 5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。
- ・歯科診療所では対応困難な患者に対する訪問歯科診療及び訪問口腔衛生指導について、体制を工夫することで実施回数を増やした。

#### 6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開している。
- ・創立百周年記念事業を大学広報活動に活用し、大学情報を広く発信するとともに、創立百周年記念事業募金の残金を基に基金を設立したことを評価する。